

麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【出生に伴う記念樹交付の終了について】

郡山市にお住まいで、お子さんが生まれた方に記念樹として樹木の苗木を1本プレゼントしていましたが、平成25年度をもって終了しました。対象となる方で希望される場合は、申請期間内に申請されるようお知らせします。

プレゼント対象者

郡山市にお住まいの方で、平成26年3月31日までに出産した方。

申請方法

申請書に添付して提出してください。(出生届の写しまたは母子手帳の写し)

申請期間

出産後1年以内

申請窓口

- ・21世紀記念公園 麓山の杜 024-924-2194
- ・郡山カルチャーパーク 024-947-1600
- ・郡山市都市整備部公園緑地課 024-924-2361 ・各行政センター



ガーデニングポイント

【水やり】高温乾燥が続く暑い時期は、特に水やりが必要です。せっかく土にしみ込んだ水分も、表土近くから失われて水不足となり、根の浅いツツジなどや植え替えて間もない樹木は、その影響を強く受けてしまいます。水やりと合わせての予防として、①遮光する。②根元を腐葉土などでマルチングをして、強い日光から守る。特に根を切り植え替えしたものは、強い日光や風に吹かれるとすぐしおれやすく、その後も水不足が続くと枯れてしまいます。乾いてきたら、樹冠全体にもたっぷりあげます。水をあげるタイミングは、表面の土の乾き具合を見て判断します。土壌条件が適さないと、いくら水をあげても根に届かず、すぐ乾いてしまって枯れる原因にもなります。水の量は、地中深く根に届くまでどっぴりとあげます。暑い時は、日中の水やりは厳禁です。水がレンズになって葉焼けし、乾燥する時に高温になります。水やりは、朝にあげるのがベストです。それでも乾燥が激しい場合は、夕方にもあげます。乾燥に弱い樹種は、根が地表に多く張っているツツジ類です。街路樹に植えられているツツジが、しおれているのを見かけます。鉢植えも水をあげる事によって、根の傷みが防げます。

いっぱいの光を浴びて植物は育ちます

【肥料】この暑い時期に肥料をあげる必要は、ありません。降水量が少ない時は、肥料の濃度が高くなり肥料焼けを起こします。秋の彼岸頃まで待ち、速効性の肥料をあげます。何事も適期に適量が大事です。

【病害虫防除】アメリカシロヒトリの初回の発生は、少なくとも済みました。しかし、今月の末に2回目の発生があります。早めの退治が重要です。アブラムシやカイガラムシも続けて発生しています。特にカイガラムシは、発生初期に薬剤を使用すると効果的です。ロウムシの場合は、へらなどで剥がしとると退治出来ます。アブラムシには100%でないですが、土壌に撒いて吸収移行して効果がある薬剤もあります。特に、草花などに向きます。(アセフェート粒剤です) アメシロ以外にもケムシ類が、多く発生しています。その種類により、かぶれるなどの毒を持っているものもあります。脱皮した抜け殻などでも炎症がでるので、注意が必要です。マツ類につくマツカレハも、卵から孵化します。松枯れの原因になるマツノマダラカミキリも成虫になって飛んでいます。マツの新梢をかじる後食により、マツノザイセンチュウが樹体内に入ってマツを枯らします。スミチオン乳剤などの散布が、効果的です。ハナミズキやサルスベリには、うどん粉病が発生しています。さらにサルスベリは、アブラムシ

などによるすす病が発生しています。**病気は、予防が一番です**から、①早めの殺菌剤の散布 ②混み合っている枝の剪定をして通風を良くする。③強い水流の水をかけて樹上の害虫を払い落とす。このような点に留意して予防してください。下の写真はうどん粉病がついたハナミズキです。



【剪定】月遅れのお盆にあわせて、剪定を依頼する方が多くいます。また、その理由も理解できます。しかし、今年の異常な高温の時に剪定を行う事は、良いとは言えません。ただどうしても剪定を行う場合は、日光が幹や根元まで当たる強い剪定はだめです。日焼けを起こし酷い時は、枯れてしまう事があります。剪定後は、樹冠全体にこまめに水をかけて、乾燥から守ります。美観を目的に剪定をするのではなく、「**樹木は生き物**」という概念を忘れてはいけません。植物は、これからの時期に光合成を行って、絵糖を蓄えて成長し冬を乗り切るのです。強剪定は街路樹などで見かけますが、それがいかに植物に大きなリスクを背負わせているかを忘れてはいけません。

【植え替え】この時期は適さないので、秋の彼岸頃まで待ちます。



【みどりのイベント】		※みどり講習会は、10:00~12:00開催 樹木医の先生がお答え致します。	
開催日時	教室名	内容	定員
9月14日(日) 10:00~15:00	記念樹交付及び みどり講習会	・記念樹の育て方初歩講座(季節の管理ポイント) ・秋が植え替え適期の樹木の移植方法	・記念樹申請者 ・受講希望者 無料

みどりの教室

7月20日(日)エコ教室「竹の器に花を活ける」を開催しました。今回は新鮮な緑色した竹に、室内で楽しめるシノブやファイリヤブランなどを山草用土で植え込みました。同じ材料でも、人によって作品は色々です。植物には表裏がありますので、動きを出すためにその辺の見極めが大事ですね。暑い夏に、一服の清涼感を演出してくれる作品です。



街で見かけた植物



「ツンベルギア」
(キツネノマゴ科)

草丈は2mほどの多年草です。6月から9月にかけて約4から8cmほどの花をつけます。品種は、多く花の色も数多くあります。緑のカーテンにむく植物です。公園内の麓山荘に植えてあり、つるを伸ばして咲いていますよ。抹茶をいただきながら見に来てください。ちなみに昨年まではフウセンカズラで作っていました。カーテンにむく植物はマンデビラなどいろいろあります。来年に向けて種を採っておくのも良いですよ。

